

とのおの 議会だより

No.47

平成28年11月

【発行】遠野市議会

かつ飛ばせ!

**6年生には集大成の大会、力が入る。
ホームラン!!
会場が一気にわき上がる。**

10月9日に「スポーツ少年団親睦野球小友大会」が開催されました。この大会は29回目の歴史ある大会で、当時の小友ベアーズ父母の会・育成会が、健全育成、地域間交流を目的とし、子ども達のためにと発足した大会です。選手として参加していた子も、今は親となって、会場を盛り上げています。

市内外から15チームが参加し、約500人超が訪れ、今年は青笹野球スポーツ少年団が優勝しました。市内チームの優勝は数年ぶりです。

主な内容 —9月定例会—

- ◆定例会の概要・議員発議・意見書 P 2
- ◆審議結果 P 3
- ◆議会の動き・市民の声 P 4
- ◆市政調査会調査報告 P 5
- ◆常任委員会視察報告 P 6~7
- ◆決算特別委員会質疑 P 8~11
- ◆予算等審査特別委員会質疑 P11~12
- ◆一般質問 9人が登壇 P13~21
- ◆私のひとこと、編集後記 P22

9月定例会議案審議結果

議案名	審議結果	
議案第64号	平成27年度遠野市一般会計歳入歳出決算の認定について	全員賛成
議案第65号	平成27年度遠野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	全員賛成
議案第66号	平成27年度遠野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	全員賛成
議案第67号	平成27年度遠野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	全員賛成
議案第68号	平成27年度遠野市ケーブルテレビ事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全員賛成
議案第69号	平成27年度遠野市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全員賛成
議案第70号	平成27年度遠野市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全員賛成
議案第71号	平成27年度遠野市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	全員賛成
議案第72号	平成27年度遠野市水道事業会計決算の認定について	全員賛成
議案第73号	遠野市ひとり親家庭医療費給付条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成
議案第74号	遠野市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成
議案第75号	平成28年度遠野市一般会計補正予算(第2号)	全員賛成
議案第76号	平成28年度遠野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	全員賛成
議案第77号	平成28年度遠野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	全員賛成
議案第78号	平成28年度遠野市介護保険特別会計補正予算(第1号)	全員賛成
議案第79号	平成28年度遠野市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第1号)	全員賛成
議案第80号	平成28年度遠野市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	全員賛成
議案第81号	平成28年度遠野市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	全員賛成
議案第82号	平成28年度遠野市水道事業会計補正予算(第1号)	全員賛成
議案第83号	平成28年度遠野市一般会計補正予算(第3号)	全員賛成
議案第84号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて(林英道氏)	同意
発議案第7号	骨髄移植ドナーに対する支援の充実に関する意見書の提出について	全員賛成
発議案第8号	介護保険制度における要介護軽度者への給付を継続することを求める意見書の提出について	全員賛成

声の議会だよりをお届けします

遠野市議会では、目の不自由な方にも市議会への理解と関心を深めていただくため、朗読ボランティア宮守のみなさんにご協力いただき、声の議会だより(CD・カセットテープ版)を作成し、貸し出します。

随時、申し込みを受け付けていますので、ご希望の方は遠野市議会事務局(電話番号67-2111内線252)までお問い合わせください。

また、過去に発行した議会だよりもありますのでどうぞお気軽にご相談ください。



9月定例会

平成28年9月定例会が9月2日に招集され、15日までの14日間の会期で開かれました。今定例会では、一般質問には9人の議員が登壇し市政を問いました。提案された、平成27年度決算関係9件、平成28年度補正予算関係9件、人事案件1件、条例2件、その他2件の全23議案を原案のとおり認定可決しました。また、今定例会の最終日では、8月30日に発生した東日本豪雨(台風10号)に係る災害復旧費等の補正予算が追加提案され可決しました。

請願

◆請願第4号

介護保険制度における軽度者への給付を継続する旨の意見書を提出することを求める請願

【請願者】 福祉用具国民会議 中川 研人 (採択)

議員発議

今定例会では、2件の議員発議案(意見書

意見書

◆発議案第7号

骨髄移植ドナーに対する支援の充実に関する意見書

骨髄バンク事業において、平成28年2月現在のドナー登録者数は45万人を越え、患者とのHLA適合率は9割を超えている一方で、その

うち移植に至るのは6割未満に留まっており、これはドナーの健康上の問題のほか、提供に伴う通院や入院等のため休暇を認めるか否かは、ドナーを雇用している事業主ごとに対応が異なることなどが要因になっている。

骨髄バンク事業では、ドナーの負担軽減に関して様々な取組が行われているが、ドナーが検査や入院等で病院に向かうなどして仕事を休業した場合の補償は行われておらず、ドナーが安心して骨髄等を多くの患者に提供できるような仕組みづくりが早急に求められている。骨髄移植等の一層の推進を図るため、ドナーに対する支援を充実することを強く要望するため意見書を提出するものである。

(注)HLA適合率：赤血球の輸血の際には血液型を一致させる必要がある。同様に白血球をはじめとする全身の細胞にはヒト白血球抗原(HLA)と呼ばれる型があり、移植には患者とドナーのHLA型の一致する割合が関係してくる。

◆発議案第8号 介護保険制度における要介護軽度者への給付を継続することを求める意見書

昨年6月30日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2015」が可決施行されれば、介護保険サービスを受けている方々の多くが全額自己負担となり、生活維持のためにサービスの利用を断念することも危惧される。その結果は、介護度の重篤化を招き、逆に社会保障費全体が増大することにつながる。「要介護軽度者に対する給付の見直しを検討する」という基本方針は再考すべきであり、介護保険制度における要介護軽度者への給付の継続を求める意見書を提出しようとするものである。

これらの発議案の可決により、平成28年9月15日付けで、衆参両院議長、内閣総理大臣ほか関係大臣あてに意見書を送付しました。

議会の動き(7~10月)

Calendar of council activities from July to October, listing dates and event names such as '希望郷いわて国体1000 日前記念イベント' and '台風10号による市内の被害状況 現地調査'.

「遠野茅場」の現状等を調査 市政調査会

〔調査日程〕平成28年7月15日
〔調査研修場所〕土淵町、附馬牛町、宮守町
〔参加議員〕16名



茅の生育状況を確認

市の担当職員、小向遠野文化研究センター部長、佐々木文化課長、荒井商工観光課長立ち会いのもと、三つの調査を行った。

◆「山口水車小屋」解体修理工事の状況について
八戸工業大学月舘敏栄教授の計画策定により、「遠野茅」を使い、「いわて遠野かやぶき土」の施工で見事に復元されていた。

◆宮守町寺沢高原レクリエーション施設の現状と今後の整備計画について
展望台は老朽化が激しく危険であり、早急に修理が必要と感ずられた。パンガローは掃除もされていいて、「体験学習や交流会等」に利用してはどうか」などの意見が出た。

台風10号による市内の被害状況を現地調査 市政調査会

〔調査日程〕平成28年9月2日
〔調査研修場所〕土淵町、綾織町、防災センター
〔参加議員〕17名



土淵町小烏瀬川の被災状況

台風10号による市内の被害の概要と被害箇所の現地調査を行った。はじめに、防災センターにおいて、被害対策本部である各部の部長よりどんな対応をしたのか、被害はどの程度かなどを詳しく説明を受けた。特にも、台風が来る二日前から、消防団員による土のうの備蓄をしてきたことを聞き、感銘を覚えた。その後、被害が大きい土淵町を視察した。思っていた以上の被害の状況であり、議員皆驚いた様子であった。今回の災害において、人的被害がなかったことが一番であったと思う。東日



被害拡大の一因となった流木

本大震災の教訓や自主防災組織の訓練で市民の災害に対する意識が高揚していると感じられた。今後も市民総ぐるみで、復旧復興に取り組まなければならないと感じた。

市民の声 (Citizens' Voice) section containing three testimonial boxes. Box 1: 「えるぼし」に目がひかれ... (松崎町 女性). Box 2: 私も大槌から来て6年目に入っています... (上組町 男性). Box 3: 議会の傍聴は予約が必要ですか... (上組町 女性).

農業振興と環境保全対策について

産業建設常任委員会

〔視察日程〕

平成28年

7月25～27日

〔視察研修先〕

北海道河東郡鹿追町
環境保全センター
北海道立総合研究機構畜産試験場
十勝農業改良普及センター本所・西部支所

〔参加議員〕

菊池充
多田勉
照井文雄
荒川栄悦
細川幸男
多田誠一
〔同行職員〕
農林畜産部畜産振興課長補佐 菊池稔彦



耕畜連携の取り組みについて説明を受ける

鹿追町環境保全センターは、単に牛のふん尿と生ゴミや下水汚泥を適正に処理するだけでなく、環境の改善・農業生産力の向上・地球温暖化の防止・循環型社会の形成・地域産業活性化の推進を担い、中鹿追地区に17億4千万円（町負担3億8千万円）をかけて整備され、平成19年10月に稼動した。さらに2基目を酪農の中心である瓜幕地区に約28億円（町負担14億円）をかけ、国内最大規模のバイオガスプラントを整備し、今年4月より稼動している。

- メリット① 市街地や観光客への悪臭や環境汚染防止による環境の改善。
- メリット② 処理された消化液や堆肥が、牧草地・飼料畑・畑作に還元することによる、農業生産力の向上。
- メリット③ バイオガスによる水素事業・精製利用・売電で、地球温暖化の防止にも寄与。
- メリット④ 家庭や公共施設等から排出される生ゴミ・汚泥の処理で有機堆肥から生産された農産物の供給による、循環型社会の形成。
- メリット⑤ 余剰熱利用によるハウス栽培品目の拡大や周年栽培の確立、チヨウザメ飼育等による新産業の創出で、地域産業が活性化。



今年4月から稼動した国内最大規模のバイオガスプラントの全景

新産業の創出は試みの段階ではあったが、それ以外は計画に近い取り組みがされていると感じた。
鹿追町は人口5533人、総面積402.88km²の3割を占める農地面積から、農業生産額は186億円、酪農が51%、その他畜産が21%、畑作は28%となっており、酪農の環境対策無くして町は成り立たないとの思い

と、耕畜連携による持続的農業振興の更なる発展のために大規模プロジェクトとして果敢に取り組みされていることを、この施設を研修し実感した。当市においても豊富な有機質資源を活用し耕畜連携の推進を図るためにも、堆肥センターの拡充による完熟堆肥生産の増量及び供給体制の強化が求められていると感じた。

妖怪文化・伝統伝承文化等を通じたまちづくり及び子育て・住まい支援制度と若者定住・移住の取り組みについて

教育民生常任委員会

〔視察日程〕

平成28年

7月19～21日

〔視察研修先〕

鳥取県境港市
鳥取県岩美町

〔参加議員〕

萩野幸弘
菊池美也
小林立栄
菊池巳喜男
小松大成



いたるところに妖怪を活用したまちづくりが面白い

2010年に開催された遠野物語発刊百周年イベントのオフラインイベント「かたるくん」の生みの親であり、「ゲゲの鬼太郎」の作者としても有名な水木しげる先生の生誕地である鳥取県境港市を訪問し、妖怪を活用したまちづくりの実態を視察研修した。

若手職員の発案であったが、地元は当初奇抜すぎて否定的だったようである。しかし、市職員の粘り強い説得とメディアに取り上げられ観光客が多数訪れるようになったことで、地元商店街も積極的姿勢に変わったようだ。その後、水木しげる記念館もオープンしたが、こちらの施設は現在も行政が直営しており、中の売店には水木先生の書籍が数点販売されているのみである。これは地元商店街と販売品目が重複しないようにする配慮とのこと、官民一体となって水木しげるロードを盛り上げている姿勢に共感した。

い田舎の総合第1位に選ばれた町である。豊かな自然環境や移住支援体制の充実もさることながら、実際に移住を果たした若い世帯が

新たな移住者を呼び込んでおり、口コミ効果が非常に高いと感じた。また、移住支援だけでなく定住対策として仕事の確保、子育て支援や教育環境の整備、老後のケア等、総合的かつ継続したサポート体制も整備されている。本市も今後の市政発展に向け、若い世代の移住に積極的に取り組む必要があると感じた。

境港駅から本町アーケードまでの800メートルに及ぶ水木しげるロードには、随所に水木先生が描く妖怪等をモチーフにしたブロンズ像が多数展示されている。妖怪像の設置は行政の

この町は田舎暮らしに関する月刊誌で住みた



岩美町担当職員の説明後、自由討議の時間に入り、活発に意見を交わす

決算特別委員会

決算特別委員会（議長及び監査委員を除く16人の議員で構成、委員長照井文雄議員、副委員長荒川栄悦議員）は、決算等9件について付託を受け、審議を行いました。

今委員会では、今後の施策全般にわたり活発な質疑が交わされました。その結果、全9議案が原案のとおり可決・承認されました。

行政区と自治会の在り方について

問 進捗まちづくり検証委員会の答申後に行政区と自治会は一元的に管理した方が良いとの考え方になったと捉えていいのかわかるか。

答 今まで行政区と自治会が一元的に取り組んできたところや別々の枠組みで取り組んできた地区もある。一元的にするのが好ましいのはその通りであるが、行政区長と自治会長のリーダーとしての役割に枠組みを考え整理したうえで対応していきたいと考えている。

現実的に行政区と自治会が一緒の所もあれば、行政区の範囲が大きく、自治会が複数のところもあり、これを一元的に管理していくとの考えはおかしいのでは。

答 行政区の中には公民館ごとに自治会があり、一元的にやらなければならぬと申し上げているのではない。当然地域の実情に応じて地域づくりの在り方があってしかるべきと思っている。

遠野にぎわい商品券(プレミアム商品券)発行事業の検証は。

答 消費総額は約4億8千万円、消費喚起効果額として約1億8千万円の成果と推計している。1人5セット限りとしていたが、他の販売場所を回り多く購入している方も見受けられた。また、アンケート調査では、各世帯が確実に購入できる販売方法を求める意見があった。

地域消費喚起・生活支援型交付金事業について

問 遠野にぎわい商品券(プレミアム商品券)発行事業の検証は。

答 消費総額は約4億8千万円、消費喚起効果額として約1億8千万円の成果と推計している。1人5セット限りとしていたが、他の販売場所を回り多く購入している方も見受けられた。また、アンケート調査では、各世帯が確実に購入できる販売方法を求める意見があった。

の答申も得ているが、まだに方向性が見えていないとの思いがあるが。

問 我々がこれから特に力を入れていかなければならないと考えているのは、受け皿の自治会と地域づくり連絡協議会の活動や組織をどのように強化していくか、まだ形として示していないのが現状である。早急に体制づくりを含めて対応していく。

特定不妊治療費等助成について

問 保険適用外男性不妊治療(TESSE・MESA)費の助成金交付が0件だった。

答 男性対象の不妊治療助成を昨年度から新規に取り組んだ。デリケートな問題であり、この事業は継続する。

長期にわたる不妊治療には、プライバシーの保護など職場環境の整備が求められるが。

問 これまで事業所への具体的な働きかけはしていない。重要なことである。今後取り組む。

県内にはTESSE・MESAが可能な指定医療機関が無い。県外に治療を求めざるを得ない現状を鑑み、助成を交通費やその他の必要費用へ拡大する考えは。

答 不妊治療相談者個々の意見を、助産師や母子保健コーディネ

あった。
消費喚起効果額とは：商品券がきっかけとなり購入した商品・サービスの額

シルバー人材センターについて

問 会員数が前年を下回った。その理由は。

答 地区担当を決め、60歳以上の方への登録勧誘もしているが、農業に従事している方が多いこと、あるいは継続雇用などが要因として挙げられる。大事なのは健康長寿・生涯現役であり、シルバー人材センターに登録せず他の場面で活躍しているのであれば、それはそれで良しと捉えている。安全に就業率が100%になるような工夫もされている。この活動をこれまで同様、後押しをしていきたい。

子育て応援に対して子育て世代の声を

問 子育て応援宣言の

答 子育て応援宣言の



子育て応援宣言の

岩手中部クリーンセンターについて

問 昨年10月より岩手中部クリーンセンターが本格稼働した。課題はないか。

答 懸念されていた中継センターの悪臭もなく、順調である。現状では課題はない。

岩手中部広域行政組合負担金について、遠野の負担割合が大きいのでは。

問 負担金は、組合規約の人口割・処理割等から算出される。検討が必要な内容だと捉えている。

負担金の処理割合には、ごみの重さが反映される。生ごみはバイオマス発電等に活用できる。生ごみを完全分離回収する考えは。

答 現段階では難しい。まずは資源ごみ分別の徹底をはかり、燃えるごみ減量に取り組む。

分別の詳細について市民周知の方法は。

答 遠野テレビ、広報遠野、ポスター等でお知らせする。さらに不明な点は、お問い合わせ

させていただきたい。



岩手中部クリーンセンター中央制御室の様子

原木しいたけに対する農産物放射能被害対策の現状は

問 ホダ場除染作業を平成28年度に繰り越して実施するということが、その内訳は。

答 ホダ場除染を平成27年度に4586㎡実施したが、約6千㎡を平成28年度に繰り越して実施するものである。

東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故に伴った市内の補償実態はどのようになっているか。

答 出荷解除されていない農家のしいたけに

は、個人で申請しているものと森林組合や農協を通じて申請しているものがあるが、平成26年秋の分は把握していない。

問 ホダ木処理及びホダ場の落葉層除去の経費については、県の100%補助であることから損害賠償請求の対象外である。原木しいたけの出荷自粛及びホダ木の廃棄に対する個人の損害補償が対象になる。農家の損害賠償の申請件数は森林組合系統出荷分が平成24年度から平成28年度までで103件で、平成28年度の2件が未払いとなっている。ホダ木の廃棄分については、平成25年度から平成26年度で2回の申請があり、平成26年分の13件未払いとなっている。なお、系統外の出荷分は把握できていない。

遠野ふるさとあぐりスクールについて

問 大変有意義な研修制度と理解しているが、もう少し成果が分かる

答 成果説明書に追加することも可能だが、様式のスペース等の関係もあるため、工夫が必要である。別途資料を示すことが出来るか今後検討したい。

台風等による風水害への被害対策としての農業災害補償法について、新規就農者への学習の場の取り組みについては。

答 青年就農給付金受給者や地域おこし協力隊の5名の方が新たにホップ栽培に取り組みしており、遠野ホップ農業協同組合あるいは農業生産法人で勉強会を開催し、学習の場を設けている。

国外研修について、その成果を活かすためには支援の体制づくりが求められるが、研修成果等について開示できないのか。

答 青年就農給付金を受けている方々でネットワークを構築しており、このネットワークのなかで報告会を行っている。これまで、氏

1ターが丁寧に向っている。それをもとに検討していきたい。

TESSE：精巢内精子採取法。
MESA：巢上体内精子吸引採取法。

名、年齢、性別等は公開した経過はないが、検討する。

あぐりスクールの研修内容と成果については。

答 受講者は毎年減少し、固定化しており、内部で検討し平成28年度からは、市内における団体や組織での研修会に参加する方式に見直したところである。

就農者定着のための取り組みに対する市の指導は。

答 一番は技術の習得の機会であり、そのための受け皿として集落営農組織とか大規模園芸者等から指導者を見いだして指導を進めていく。

馬事振興ビジョンについて

問 農用馬の振興は。

答 増頭のため、中央馬事団体とも積極的に協議したい。また、観光面での稼働で収入を上げることも必要である。

民間団体の自立支援、観光事業の連携強化の取り組みは。

答 馬事イベントには民間団体の協力、存在は欠かせない。公益性に留意しながら連携し、支援したい。また、受益者負担の考え方の広域的な枠組みも必要であり、関係者と意見交換をしながら進めている。

乗馬スポーツ少年

問 乗馬スポーツ少年

答 乗馬スポーツ少年

問 乗馬スポーツ少年

答 乗馬スポーツ少年



クラフトビール生産研修及びホップ生産研修(アメリカ) 報告書より

団や遠野緑峰高校の馬事研究会の人材養成については。

馬事文化の伝承のために必要な人材であり、全国に活躍の場が広がると考えている。習得した技術を活かすため、馬の里や全国各地の馬事関係団体、乗馬クラブ等への就職の斡旋等の支援にも努めている。



桜ロードトレッキングの様子

農業用施設管理について

ため池一斉点検業務の委託先と結果について。

岩手県土地改良連合会に委託し、2ha以

上のため池31か所を地震の被害によるものと、防御の必要性について点検をした。結果、現在のところ緊急性のあるところはなかったが、目視による経過措置のところは1か所あった。

森林愛護少年団について

現在の市内における少年団の組織数とその活動内容は。

鷹鳥屋・青笹・宮守・鱒沢・綾織の地域単位および小学校単位での5少年団が組織されている。森林愛護・自然観察・キャンプ等の団体生活技術の習得などを趣旨目的とし、遠野市緑化祭「里山フェスタ」への参加や緑の少年団岩手大会への参加が主な活動である。

有効な教育手段であり、林業振興にも繋がる児童の貴重な活動と考える。市内全11小学校単位での少年団結成について、教育委員会の考えは。

植樹祭では、汗を

流す子どもたちの姿を見る。森林愛護少年団の活動は意義深いものであると捉えている。校長会議で説明をし、結成を呼び掛けた。各小学校で検討をしている段階である。

定住増加に係る空き家リフォーム支援について

遠野市への移住者の世帯数は、平成26年度8世帯、平成27年度の実績は13世帯増となり74世帯になった。増えた要因は。

移住相談件数は、平成26年度は60件、平成27年度は115件であり、ほぼ倍増している。で、くらす会員の制度の中で、丁寧に対応した結果が増えた要因と考えられる。

空き家リフォーム事業助成が、平成26年度と同額の10万円である。定住者が増えても、同じ金額であるが、移住者に助成額を増額する考えはないか。

空き家リフォーム事業助成は、空き家の

所有者に対して助成する制度である。空き家の有効活用と移住者の定住を促進するため、平成28年度からは1軒あたりの助成金額を10万円から25万円に引き上げた。

市民センター裏の立木の手入れは

市民センター側の鍋倉公園斜面立木の倒木が心配される。どのように考えているのか。

市民センターがリニューアルしたことに合わせ、平成28年度予算で対策に関わる業務の委託契約を締結し、着手する予定になっている。

公園にドックランの機能を

市内の公園に、安心して使用できるドックランの機能を持たせたエリアを考えられないか。

公園は市民の憩いの場として誰でも利用できるが、市内にはいろいろな公園があるの

で、場所や機能について要望を踏まえて検討していきたい。



遠野町の避難所が全ての行政区で市民センターである問題点について

遠野町に避難指示が出された場合は、1区から15区まで、全て市民センターが避難所ということと間違いがないか。

今回の台風10号の場合、遠野町は市民センターとした。

早瀬川が増水した場合、遠野町12区と13区の区民が橋を渡って市民センターに避難する事は危険であるという声が出て



9月15日に設置された東日本豪雨災害対応検証チームの会議の様子

いるが、どのように捉えているのか。

避難準備情報は避難に時間を要する人は準備を始めて下さいという事であり、雨が降る前の時間帯にできれば避難して下さいとの情報になる。ただ、避難勧告にあつては、今回は雨が強くなつてきたところで発令したところで、指摘を受けたところでもあり、遠野町12区や13区については遠野中学校や福祉センター側が安全なことから、検証を行い検討していく。

スクールバス運行の在り方について

スクールバス運行の事故時に対する統一したマニュアルが必要ではないか。

校長会では、教育委員会と事業者が協議して一定のマニュアルを作るように進めていくことにしている。

小学校通学対策の中には、通学距離4km以上に路線バス委託の路線があるが、スクールバスは乗車すると直接学校に向かう。路線バスは決められたコースを運行しながら学校近くの停留所に向かう。スクールバスと違った座席や発着時間、通学に要する時間等の制約など、色々な問題点もある。例えば、附馬牛町からの中学校スクールバスが運行されているが、これに駒木地区の児童も乗車できる工夫をするべきではないか。

調査して見直すべきところは見直していかなければならない。学校と協議しながら適



安全運行が求められるスクールバス

正な対応をしていく。停留所が学校から見て死角になっているところがある。子ども達の安全が確保されているのか。学校から目が届くように停留所の位置変更はどうか。

路線バスの場合にはすぐにできないかもしれないが、確認しながら意見を踏まえた協議をしていきたい。

予算等審査特別委員会

予算等審査特別委員会（議長を除く17人の議員で構成、委員長菊池由紀夫議員、副委員長佐々木大三郎議員）は、条例2件、予算8件について付託を受け、審議を行いました。

今委員会では、今後の施策全般にわたり活発な質疑が交わされました。その結果、全10議案が原案のとおり可決・承認されました。

本庁舎整備事業費について

本庁舎建設工事の補正の理由について

工事経過の中で、建築主事や消防署の指導があり、仕上げ工事の変更があったため、今回補正予算を計上したところである。今後は追加計上の予定はない。

工事状況について

庁舎一階の半分が駐車場で、半分が地下一階である。40本のく

介護ロボット導入について

どのような種類のロボット導入か。

見まわり支援の機器で、認知症関係の入所者が夜間徘徊等でベッドから離れた際、セ

い打ちが終わり、地中梁のコンクリートの打設が終わった。工事は順調と考えている。来年の6月定例会に供用開始をしたいと考えている。



現在整備中の新庁舎

今後、介護士の労働的負担を軽減する介護ロボット等を導入する考えは。

介護人材の確保関係からも労働軽減策を国の助成制度を見なが

ら、対応を検討していきたい。

機器に頼りすぎてしまう心配はないか。

基本的には目視確認をするようにしていく。

機器に不測の事態が起きた時、メンテナンス業者は近くにあるか。

早急に確認し、導入される施設とも連携

を密にしていきたい。

六次産業化635万円委託料について

問 委託料の内容は。
答 一つは、地域の農産物や農産物加工品の開発と販路開拓を行い、地域商社としてふるさと公社を位置付け、販売と販路開拓を伸ばす事業である。

二つ目の消費者理解増進対策事業は、放射線影響対策を含めて、当市の安心安全の農産物を首都圏等の友好市町村に販売促進し、当市農産物の理解を深め各フェアに参加する事業である。

問 今年度の六次産業化の進行状況は。
答 基礎調査を踏まえ、ふるさと公社の組織体制や経営体制・財務体質を見て持続可能な地域商社としての体制の検証を行い、計画を作成し事業執行をしていく。今年度は、ふるさと公社の体質強化として中小企業診断士を入れ諮っていく。

問 地域商社としてのふるさと公社の位置付けは。
答 この事業は地方創生の推進交付金であり、地域商社の核となる機関・団体を位置付けることが条件である。ふるさと公社が主体的役割を担うことは発足当時から、変わったものではなく地域貢献、第1次産業、6次産業の役割を担うことに変わりはなく、次のステップに向かうための事業である。

市営牧野管理事業費の増について

問 需用費359万1千円の内容は。
答 採草用モアール1台の修繕費である。
問 モアールの値段は。
答 日本製が、稼働面積の実績は、1300万円の外国製で稼働面積は270haとなっている。
問 270haの稼働で故障するような機械ではないと思われるが、取り扱ひ上に問題がなかったのか。
答 作業場の不慣れに

よるものではなく、圃場条件である傾斜地や起伏の多いところで故障と聞いている。
問 圃場条件という理由は成り立たない。条件に見合った機種の設定が重要である。今後の管理方針について伺う。
答 同機械の作業場所特定による故障の防止と、今後の購入にあたっては、作業効率にこだわることなく、圃場条件にあった機械の選定に努めていく。

WiFi環境整備事業費について

問 WiFi環境整備の内容は。
答 国交省の交付金を活用して、観光に訪れる外国人向けにWiFi環境を市内7か所の観光地に整備するものである。

問 ネットアクセスのためか、市内の観光地の案内についてはどうか。
答 目的は無料で使えるWiFi環境であり、観光地情報も発信

する予定なので、より便利になると思われる。
問 オール遠野で観光まちづくり推進事業費について
答 伊能嘉矩生誕150年の取り組みは、岩手県台湾訪問ミッションに職員を派遣し、観光・物産調査、伊能嘉矩の業績調査を行った。特別展開催に向け資料の借用、講師の派遣依頼、観光面でのエージェントとの情報収集、物産の輸出に向けた打ち合わせ等を行っている。また、県の観光パンフレットで取り上げられるよう、県南振興局を通じて働きかけている。

問 伊能嘉矩台湾友好交流実行委員会の構成は。
答 遠野市、遠野市観光協会、遠野商工会、遠野ふるさと公社、株式会社遠野、遠野市教育文化振興財団、岩手県で構成する。再度台湾へ調査に向かう予定である。

防災教育推進事業費について

問 防災教育パネルはどこに展示するものか。
答 現在の資料館のパネルは遠野市の後方支援活動が主であり、そのほかに建設業協会、社会福祉協議会、まごころネット、文化財レスキュー等の活動のパネルを作製し展示して



問 仮設の資料館を本設にする考えは。
答 将来的には膨大な資料を皆さんにお見せする常設の資料館を考えている。このような資料館は観光化してきており、利用者も多くなっている現状であることから風の丘も本設の場所に考えている。
問 現在の資料館は大人向けであるが、子どもや女性向けの展示についての考えは。
答 小学4年生の感想文に「災害の大変さを改めて考えました」と書いており、本設においては大事なことを考える。今後、展示や表示の仕方を考えていく。



後方支援資料館の内部の様子

遠野ローカルベンチャー事業の今後の展開は

問 遠野ローカルベンチャー事業の、要となっている地域おこし協力隊制度の内容について改めて伺う。

答 大都市圏から過疎地域に生活拠点を移して、地域おこし活動をしながら定住を促進する取り組み。隊員一人当たりの活動経費は年間四百万円で、国から特別交付税で10割支援される。

問 去る9月1日に、地域おこし協力隊員として採用した10名に辞令が交付されたが、今後どのような活動に取り組むのか。

答 ビール・発酵・地域の可視化・低コスト住宅・遠野デザイン・多世代交流・遠野の食の7つのプロジェクトに取り組み。それぞれのプロジェクトは、地元の様々な取り組みを行

っている方々とうまくコラボレーションしながら新たな展望を開き、第2ステージにもって行く、それらの取り組みのキーマンの方々である。

行く、それらの取り組みのキーマンの方々である。

地域活性化のキーマンとして期待される地域おこし協力隊の皆さんへの辞令交付の様子

地域おこし協力隊員の採用人数をもっと増やしては

問 遠野市が今年5月に行った隊員募集には、仮申込に500名近くの方が、東京と名古屋で計3回開催した説明会には175名の方が、そして最終的には80名の方から本申込みがあったということだが、採用人数を増やす考えはないか。

答 遠野に魅力を感じながら、そして活躍の場を求めて、多くの方々が応募して来たのは、まぎれもない事実で嬉しいが、冷静にとらえた時、地域の方々や地元で頑張っている方々と、どの様にうまく連携を図り、お互いがより良くなるためには、一方においては手堅くという思いもあり、今回は10名に落ち着いた。だが次の展開なり可能性については否定する訳ではなく、これから関係者と議論をかわしていく。



浅沼 幸雄 議員

(政和クラブ)

一問一答方式

その他の質問

- 地域経営改革について



地域活性化のキーマンとして期待される地域おこし協力隊の皆さんへの辞令交付の様子



菊池 巳喜男 議員
(市民クラブ)

一問一答方式

その他の質問

- 農地中間管理機構を活用した農地の集積・集約について

で・くらす遠野市民制度による 交流人口の拡大と 移住・定住の推進状況について

問 「で・くらす遠野」窓口の一元化による現状と推進状況はどうなっているのか。

答 遠野市の移住・定住支援として、空き家の有効活用及び移住者の定住を促進するため、空き家のリフォーム工事と家財道具の整理に

要する費用に対し助成する「遠野市空き家リフォーム事業助成金」の制度がある。また、移住者へのアフターケアとして移住者交流会を開催している。

六次産業化の進捗状況について

問 六次産業化を推進している中で、状況と実績はどうなっているのか。

答 昨年、遠野市では「遠野市六次産業化・地産地消推進協議会」を立ち上げ、推進の情報共有を図り取り組んでいる。また、地方創生推進交付金を財源に、販売拡大の進む地域資源を

問 岩手県でも六次産業

答 遠野市の協議会設置の戦略を県では高く評価している。この設置と県の推進プランが同時期に策定され、県の県南広域振興局の支援を受け、遠野農林センターが協議会の構成員として参加、情報共有を図り連携している。

問 移住・定住対策として、遠野市での助成制度と今後の強化策はどうなっているか。



交流人口拡大のイベントとしても盛り上がる「遠野ホップ収穫祭」。ホップに魅了された移住者も。



佐々木 大三郎 議員
(市民クラブ)

一問一答方式

第三セクターの経営改革について

問 今回「第三セクター等の経営体強化」について示されたが、5年前に遠野市進捗まちづくり検証委員会からの提言を受けて策定した「第三セクター等経営改革」に基づく評価・検証等が行われてきたか。また、その結果が今回の施策に生かされているか。

答 課題解決に向け不退転の気持ちで取り組み

問 今回の経営体強化策はインバウンド対応(社内向けの改革)のみにとどまっていらないか。アウトバンド(外部への営業戦略や市場開拓、接客対応)にも注力する必要があるのか。

答 外部専門家の配置により、先に進化まちづくり検証委員会から提言を受けた内容を再度分析しながら、インバウンドとアウトバンド策を組み立てて取り組む。

問 当市の第三セクターは行政主導の経営体質から脱皮できないという。事業内容と目的、使命を再度明確にさせ、権限と責任を与えて自立した事業運営ができる環境づくりが必要でないか。

答 提言内容のとおり最善の努力をする。



風の丘「創業感謝祭の餅まき」

スマートフォン向けゲームの活用について

問 世界中で大人気のスマホ・ゲームについて、遠野のキャラクターとして河童や座敷わらし、天狗等を出現させ、ゲームをした宿泊客には特産品をプレゼントする等の取り組みはいか

答 遠野ならではの魅力と特徴をうまく生かした発信は観光客と交流人口増加に繋がる。一方で、社会問題化している面もあることから情報収集を行い、一時のブームに乗ることなく冷静に考え判断しなければならぬと考える。

問 世界中で大人気のスマホ・ゲームについて、遠野のキャラクターとして河童や座敷わらし、天狗等を出現させ、ゲームをした宿泊客には特産品をプレゼントする等の取り組みはいか

答 遠野ならではの魅力と特徴をうまく生かした発信は観光客と交流人口増加に繋がる。一方で、社会問題化している面もあることから情報収集を行い、一時のブームに乗ることなく冷静に考え判断しなければならぬと考える。



小林 立栄 議員 (無党派)

一問一答方式

その他の質問

- 国際交流の推進について

る。提案について検討していききたい。

西郷菊次郎・伊能嘉矩と同じく、明治28年に台湾に渡り、台湾総督府で働き、その後、台北市の隣の宜蘭市で初代長官として活躍。

シティープロモーションの推進を

問.....

遠野の魅力を引き、遠野の価値を高め、遠野を売り込むプロモーション(営業活動)を専念して担当する人、組織が必要ではないか。

答.....

各関係機関が有機的な連携を図りながら総合力で取り組む中で、遠野の魅力を知り、遠野の魅力を発信する取り組みであるプロモーション

シヨンは大事である。専門的なノウハウを持った部署や窓口の設置など、オール遠野として取り組める仕組みを、経営改革や行政改革の中で具体的な形に持っていく。

問.....

伊能嘉矩生誕150年を記念する事業で、伊能嘉矩と同時代を生きた熊本県菊池市に縁のある西郷菊次郎を記念で紹介したり、菊池市と鹿児島県竜郷町(菊次郎の生誕地。菊池市の友好都市)の物産展を開催して、菊池市の復興を支援してはどうか。

答.....

人と人が繋がり、地域と地域の絆がネットワークとなり、地域の活性化となる。台湾での伊能嘉矩と西郷菊次郎の接点には物語性があり、大きな情報発信、プロモーションにもな

心のバリアフリー教育について

問.....

誰もが互いに個性を尊重し合う「共生社会」の実現に向けて、支え合いの意識を醸成する「心のバリアフリー」が重要視されている。高齢者や障がい者の疑似体験・介助体験、障がいのある芸術家やスポーツ選手を講師に招くなど、心のバリアフリー教育を推進してはどうか。

答.....

特別活動や総合的な学習での「キヤップハンディ体験」、特別支援学校との交流活動を実施している。障がいのある芸術家やスポーツ選手の体験型学習に参加する価値は、非常に高く有効である。パラリンピックや国体の障がい者競技、体験の機会となるような情報提供をして、様々な場面での体験を通じた心のバリアフリーを育てていくことは大切である。



ユニバーサルスポーツの体験 (遠野グローバルプラザにて)

学校行事やプールでの安全対策について

問.....

学校での組み体操は運動会の花形とも言えるもので、多くの学校で行われる一方で、事故が発生し、社会問題化する事態となっている。アクロバティックな組み体操に対する教育長の見解を伺う。また、全国的に学校プールでの事故が発生しているが安全対策は充分か。

答.....

組み体操については、全国で毎年8千件を超える事故が発生しており、文部科学省では本年3月25日付で都道府県教育委員会を通じて、組み体操を実施する場合には事故防止の徹底につとめ、確実に安全な状態で実施できるかどうか確認し、できないと判断される場合は実施を見合わせるなどの通知がなされた。市教育委員会として

も具体的な事故の事例や、事故になりやすい技などの情報については周知徹底をはかっている。

プールの安全対策については、文部科学省・国土交通省の『プールの安全指針』及び『水泳指導の手引き』を基に、適切な指導や対策を全教職員へ徹底している。



小松 大成 議員 (無党派)

一括質問方式



8月に落成した遠野西中学校のプール

小中学校教員の多忙化について

問.....

教員の多忙化の問題が国会で取り上げられ、その実態に驚愕した。原因として部活動の指導が教員の多忙化や長時間勤務の要因となっており、特に中学校・高校の運動部における長時間のクラブ活動は子供の心身の発達にも決して好ましくはない

答.....

平成27年度の教職員一人に係わる1ヶ月あたりの時間外勤務は、小学校については約25時間、中学校については約56時間となっている。中学校の教職員の時間外勤務がとりわけ多いのは土日に行われた部活動の指導に関する時間が含まれている事。市教育委員会としても、生徒の多様な体験の充実、家庭学習との両立、健全な成長の促進の観点から、また、教職員の多忙化解消の取り組みとしても部活動の適正化に取り組んでいかなければと考えている。



細川 幸男 議員 (無党派)

一括質問方式

クレソンの販路開拓と行政の役割について問う

問.....

遠野市の農業振興差別化の必要性について、市長の認識は分らないが、目まぐるしく変わる国の農政に対応すべく努力している事は理解する。市内の農家従事者は、市でも示しているように高齢者が大半で、約9割の農家が小規模経営である。高齢化が理由だけでは無いが、むしろ、その人たちが主役にする農業を推進し、農家人

口を守る事は農村景観も守る事に繋がるものと考える。

2014年6月、アメリカ疾病予防管理センターの発表によると、地上最強の栄養野菜はクレソン。癌や痰咳等の予防効果や、女性の肌を美しく、体重をも軽くする。自家栽培が出来、年間を通して生産が可能な事や栽培経験は不要、年齢者や男女問わず、楽しく出来る農作業である。

課題は販売拡大だが、肉が主食の国々はクレソンが必需品とされ、農業国でも有る大國アメリカさえも周辺国から輸入している。遠野産クレソンをアメリカに輸出し、青年層からも期待される遠野農業に変えるチャンスと思う。遠野の農村景観の未来、クレソンの導入検討状況、販路の開拓について行政の役割を一括してお尋ねする。

答..... 集落営農として2つの営農組合、クレソンの生産組合として1組合、個人として直接販売が数名、平成28年度から地域おこし協力隊が、個人で10アールの栽培に挑戦している。販路は東京都内、仙台市内レストランに販売している。議員が紹介した通り、栄養密度が非常に高いという研究結果が公表され、健康に良い野菜としてクレソンは見直されてきている。クレソン等の販路開拓と行政の役割のことであるが、答弁で述べたとおり、クレソンの試験栽培を始めた平成22年度から、農業活性化アドバイザーが、首都圏や宮城県、そして県内のレストラン、市場との小ロットでの販売契約を取り付けてくれ、その販路は、現在も続いている状況である。農産物に限らず商品開発は、生産する前に、販路があることが大前提である。まず、一定の販路を



設けこれを足掛かりに市場を開拓する。また、生産基盤を確立する。この川下から川上の考え方が、私が言うまでもないが、経済活動の基本となる。



荒川 栄悦 議員 (市民クラブ)

一問一答方式

堆肥センターの在り方について

問.....

笛吹牧場の事故と遠野市の責任について伺う。

答.....

笛吹公共牧場に堆肥を散布した際に、大雨により、濁水が釜石市の青ノ木川に流出したものである。下流域の釜石市の方々は多大なご迷惑とご心配をおかけした。風評被害により釣り客が減少している地元漁協から補償

支援等を要望されており、対応については釜石市とも協議しながら慎重に進めていきたい。市営公共牧場における堆肥散布を許可した遠野市に当事者としての責任があると認識をしている。

問.....

堆肥センターの整備については。

答.....

畜産振興上、畜産農



新しく整備が期待される堆肥センター

家が耕種農家と連携するためには、堆肥センターの持つ意義は大きい。新たな堆肥センターの整備については、堆肥の市内の流通状況

需要と供給のバランス状況を見極めながら適正な規模を検証し、整備の方針を、スピードとタイミングを失しないように決定したい。

問.....

遠野牛ブランドの確立について伺う。

答.....

平成25年から「いわて遠野牛」としての出荷が始まり、ブランド化の推進を図り3年目である。現在、年間1200頭を出荷している。今後もふるさと納税の返礼品など、知名度の向上を図るために取り組んでほしい。

問.....

循環型農業、環境保全型農業における堆肥利用による農作物の遠野ブランド化について

答.....

耕畜連携における、安心安全の農産物こそ遠



いわて遠野牛のロゴマーク



瀧澤 征幸 議員

(躍進とおの)

一問一答方式

その他の質問

- 人口減少の歯止め策
- 地域おこし協力隊永住対策
- 高校統廃合への対応
- 改正公職選挙法による今後の課題

新たな コミュニティづくりを どう進めるのか

問.....

少子高齢化の中、新たなコミュニティづくりこそ遠野市の将来にとって重要な課題と考えるが。

答.....

第2次総合計画においては、コミュニティづくりの小さな拠点としての地区センターにおけるマンパワーを

どのように活用していくかが今後の課題である。地域と一体となつて知恵と工夫を出し合うことで地域コミュニティづくりの第2ステージが構築されていくものと信じている。

今後の地域づくりにあたっては、自治会同士の場合は当然であるが、いかに実行に移していくかの段階にきていると考えている。今回の補正で、上郷地区

へのモデル事業を計上しており、地域コミュニティづくりへの試みの中で新たなまちづくりを進めていきたい。



◀今年度「市長と語ろう会」にて、地域コミュニティのあり方を議論

中学生の 学力向上策を問う

問.....

当市の中学生の学力は、過去5年間の全国標準学力調査による平均偏差値は県平均よりも常に下位に位置しているが、学校における学習理解度が高いのに家庭における学習時間がすくぶる少ない状況が明らかとなった。もっと家庭学習のあり方に力点をおいた教育を進めるべきではないか。

答.....

中学生の学力向上における課題はそのとおりであると捉えている。家庭学習の質の転換に取り組み中で、一人ひとりに「分かる」「できる」をより実感させ、さらに「やってみよう」「調べてみたい」という知的好奇心を高めていくことが大切である。学力向上には生徒の健全育成がベースとなっており、家庭との連携の中、知・徳・体のバランスのとれた人間形成の実現に向け、特にも「確かな学力」の向上に向けて今後とも鋭意努力していく。

予想される行政組織 再編の内容や方向性は

問.....

現在工事中の新庁舎完成に合わせて、大規模な行政組織の再編・見直しが予想される。地域経営改革の中でどのような理念・方針を持つて取り組むのか。

答.....

地域課題を解決するため、体制を構築するため、各部の意見を踏まえ、部や課の再編を検討している。特に、「市民

問.....

再編後の現業部門の人員体制や、宮守総合支所の位置付けと地域振興課の方向性、及び議会事務局・監査委員事務局の「独立性」の認識は。

答.....

職員定員管理計画に

の利便性の向上」を目指し、行政組織の見直しを行うものである。

基づき、職員数を削減している状況にある。しかし、「産業振興・雇用確保」のため、農業・林業・畜産部門は体制を強化する必要がある。また、宮守総合支所の機能は残すべきという考えであり、議会・監査両事務局とも独立性を有し、チェック機能であるとの認識は十分承知している。



瀧本 孝一 議員

(市民クラブ)

一問一答方式

その他の質問

- 皇后陛下御歌碑建立計画の内容について
- 障がい者に対する偏見・差別の解消、教育の重要性について

ふるさと納税方針変更 と進捗状況や課題は

問.....

6月議会で補正予算計上されたふるさと納税への取組は、これまで消極的だった姿勢の方針転換であり、その整合性や「スピードとタイミング」の点から時期の妥当性はどうか。

答.....

方針は変わった訳ではない。あまりにも過熱した返礼品のあり方に疑問を呈して来た。本市へのこれまでのふるさと納税は489万件、総額1億5683万円。年間平均61件、約2000万円という実績は返礼品を贈らない中で誇りにしたい。企業版ふるさと納税制度なども創設された中で、遠野らしさを持つて冷静に取り組んで行く。

問.....

ふるさと納税制度の取組を大いに歓迎するが、その進捗状況や返礼品などの準備対応・供給体制や課題などはどうか。

答.....

特産品等の出品希望者への説明会は、8月4日と12日の2回行い、10月のスタート時に



◀北海道上士幌町*の充実した地場産品が並ぶ返礼品の一部 (27年度寄附金件数 約7万5千件、寄附金総額 約15億3656万円)

*北海道上士幌町 ふるさとチョイスアワード2015で「寄附金の使い道が明確で賞」などの理由により、東日本の横綱にランクされた人口約4900人の酪農が盛んな町

は概ね30事業者・80品目の返礼品を用意できると見込んでいる。補正予算の目標額を達成できるよう、PR活動につとめて行く。

わたしのひとこと



とめばなな
留場 楠々くん
(遠野東中学校3年生)

8月30日の台風10号により、私の家は床下浸水の被害を受け、旧土淵中学校に避難しました。翌朝、家に帰ってみると庭には泥が溜まり、目の前の川は濁流で、あちこちに流木がたくさん転がっていました。

その日は学校を休み、家族と庭の片付けをしたものの、泥は重く作業は進みませんでし

た。すると午後に同級生のみんながスクールバスで手伝いに来てくれました。スコップで泥をさらい、一輪車やバケツリレーで捨てる。みんな一生懸命やってくれて、庭はあっという間にきれいになりました。

今年の体育祭に3年生みんなで作ったTシャツには「One for all, All for one!」ひとりはみんなのために、みんなはひとりのためにという言葉を入れました。みんながしてくれたことは、まさにこの言葉のことです。次は、私が、みんなのため、そして何か困っている人のために役に立てるようになりたいと思います。



このコーナーは、市民の皆様のまちづくりの夢や希望などを掲載しています。掲載を希望される方は、お気軽に当事務局までお申し出ください。

台風10号が通過した8月31日の朝5時すぎ、被害状況を確認するため、車で国道283号線を綾織方面に向かった。日影橋を渡り、対岸を走りながら増水位の跡を見て、落合橋を経由しながら家路に着き、35年前の8月23日の台風15号を思い出した。

当時の被害状況は、猿ヶ石川が氾濫し、沢田・宇洞・遊井名田地区で床上浸水が12世帯、一部破損が1世帯、避難命令が出された住民は、鱒沢小学校と鱒沢地区センターに避難するほどで、家屋や村道、農地の被害額は、旧宮守村としては過去最大の7億1千万円ほどの大被害をもたらした。今回の被害は土淵、上郷地区を中心に河川や道路に被害が集中、下流域では農地や農業施設の被害が多く、9月7日現在の被害総額は23億3300万円との事である。幸い人的被害は無くほっとしつつも、被災箇所の一日も早い復旧を願うものである。(充)

編集後記



とのおの議会だより クイズ



- その① 平成27年度決算額は約●億円。
- その② 教育民生常任委員会の行政視察先で、「ゲゲゲの鬼太郎」の生みの親、水木しげる先生の生誕地は鳥取県●●市。
- その③ 「One for all, All for one!」ひとりは●●●のために、●●●はひとりのために!

💡 この議会だよりの中に答えがあるので、最初から最後まで読んでみてください

《応募方法》 クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、ハガキやメールでご応募ください。議会だよりを読んだ感想や、議会へのご意見もお書き添えください。ご意見等は、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介させていただきます。応募者の中から、抽選で3名の方にすずらん商品券1,000円分をお贈りします。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。)

《あて先》 〒028-0392 遠野市宮守町下宮守29-77 遠野市議会事務局 宛

《メールでも応募できます!!》 gikai@city.tono.iwate.jp

《しめくり》 平成28年12月16日(当日消印有効)

～議会だより46号クイズの答え～
その① ロス その② 6 その③ 106

広聴広報常任委員

- 委員長 ■ 菊池 巳喜男
- 副委員長 ■ 小林 立栄
- 委員 ■ 菊池 充・照井 文雄・多田 勉・菊池 美也

議会への提言をお待ちしております!

とのおの議会だより No.47 【発行責任者】遠野市議会議長 新田勝見 【編集】広聴広報常任委員会

〒028-0392 岩手県遠野市宮守町下宮守29地割77番地
ホームページ <http://www.city.tono.iwate.jp/>
【印刷】株式会社 東海印刷所

TEL 0198-67-2111
E-mail gikai@city.tono.iwate.jp

